

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-187208  
(P2022-187208A)

(43)公開日 令和4年12月19日(2022.12.19)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
<i>B 0 1 J 35/02 (2006.01)</i>	B 0 1 J 35/02 J	4 G 1 6 9
<i>B 0 1 J 37/04 (2006.01)</i>	B 0 1 J 37/04 1 0 2	
<i>B 0 1 J 37/10 (2006.01)</i>	B 0 1 J 37/10	
<i>B 0 1 J 27/14 (2006.01)</i>	B 0 1 J 27/14 M	
<i>B 0 1 J 27/195 (2006.01)</i>	B 0 1 J 27/195 M	

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 17 頁)

(21)出願番号 特願2021-95101(P2021-95101)  
(22)出願日 令和3年6月7日(2021.6.7)

(71)出願人 598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号  
(74)代理人 100197642  
弁理士 南瀬 透  
(74)代理人 100099508  
弁理士 加藤 久  
(74)代理人 100182567  
弁理士 遠坂 啓太  
(74)代理人 100219483  
弁理士 宇野 智也  
(72)発明者 栗崎 敏  
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
学校法人福岡大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 リンドープ金属酸化物光触媒体およびその製造方法

(57)【要約】

【課題】 リンがドーブされた金属酸化物光触媒体を簡単に得ることができる、リンドープ金属酸化物光触媒体の製造方法を提供する。

【解決手段】 金属アルコキシド、金属ハライド、金属サルフェートおよび金属アセチルアセトナートからなる群から選択される1種以上の金属化合物と、アルコール可溶性ホスフィン化合物と、アルコール溶媒と、を含む混合液を調製する工程(S1)と、前記工程(S1)で調製した前記混合液を加水分解し、リンドープ金属酸化物前駆体を得る工程(S2)と、前記リンドープ金属酸化物前駆体を焼成する工程(S3)と、を有する、リンドープ金属酸化物光触媒体の製造方法。

【選択図】 図1

